

止水栓

TK-LS/TK-S

施工・取扱説明書

保証書付

公益社団法人日本水道協会品質認証センター認証登録品

■この度は、止水栓をお求めいただき、まことにありがとうございます。この施工・取扱説明書をよくお読みいただき正しく施工して下さい。

■本製品は、不凍水抜栓とセットで使用し、給湯器内の水を抜き、凍結を防止する器具です。

■この施工・取扱説明書には、保証書が付いておりますので大切に保管して下さい。



施工・取扱説明書の記載内容および製品の仕様は、品質改良のため予告なしに変更する場合があります。

安全上のご注意




ここに示した警告および注意は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、内容をよく理解して正しく施工し、お使い下さい。

■安全表示について

危害、損害の程度を警告・注意に分けて表示しています。

 警告	人が死亡する、または重傷を負う恐れがあることを示します。
 注意	火傷やけがを負う恐れや物的損害が発生する恐れがあることを示します。

図記号の種類と意味

	してはいけないこと。(行為の禁止)
	注意すること。(注意の喚起)
	必ず行うこと。(行為の強制・指示)

⚠ 注意

- 器具を分解しないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
- 落下等による衝撃を与えないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
- 火気や熱源を近づけないで下さい。部品の劣化や変形により、作動不良の原因になります。
- 保護キャップは配管直前まではずさないで下さい。異物が混入し、作動不良の原因になります。
- 勾配不足や鳥居・U字配管は、避けて下さい。このような配管によって水が抜けにくく凍結・破損し、漏水の恐れがあります。
- 寒冷地仕様以外の水栓は使用しないで下さい。寒冷地仕様以外の水栓は、開栓しても配管内に空気が入る水が抜けにくい、凍結・破損し、漏水の恐れがあります。
- ベンジン・シンナー・トルエン等の有機溶剤入りの洗剤は使用しないで下さい。塗装が剥がれたり、印刷が消えたり、部品が溶ける恐れがあります。

⊘

- ステンレス配管を接続する際は、絶縁処理を適切におこなって下さい。電気腐食の恐れがあります。
- 給水用の不凍水抜栓とセットでご使用下さい。単独で使用すると漏水の原因になります。
- 管軸に対して操作部を垂直・上向きに施工して下さい。作動不良の原因になります。
- 作業時は保護具を使用して下さい。けがをする恐れがあります。
- 排水配管は、水はけの良い場所に導水して下さい。導水しないと、水が抜けにくく凍結・破損し、漏水の恐れがあります。
- 接続は、本体の矢印方向と配管の流水方向を合わせて下さい。方向が合っていないと凍結・破損し、漏水の恐れがあります。
- 止水ハンドルが確実に回せる空間を確保して下さい。止水ハンドルが確実に回せない、凍結・破損し、漏水の恐れがあります。
- 施工前、配管接続部の清掃をおこない砂・ゴミ等の異物を排出して下さい。異物によって損傷・破損し、漏水の恐れがあります。
- 施工後、配管内の洗浄をおこない砂・ゴミ等の異物を排出して下さい。異物によって損傷・破損し、漏水の恐れがあります。
- 水抜き操作時、必ず立上り管に空気を吸入して下さい。立上り管に空気が入らないと水は抜けません。
- 冬期間は、確実に水抜き操作をして下さい。器具の凍結は、器具が破損し、漏水の恐れがあります。
- 止水ハンドルは全閉・全開してお使い下さい。
- 解凍作業をおこなう場合には、温度の上昇に十分注意して下さい。パッキン等が損傷・破損し、漏水の恐れがあります。
- 器具保守のため、月に一度程度の割合で操作し、作動を確認して下さい。
- 仕様の範囲内でお使い下さい。範囲外での使用は、器具の破損や性能劣化等の恐れがあります。

TAKEMURA

施工例と各部名称

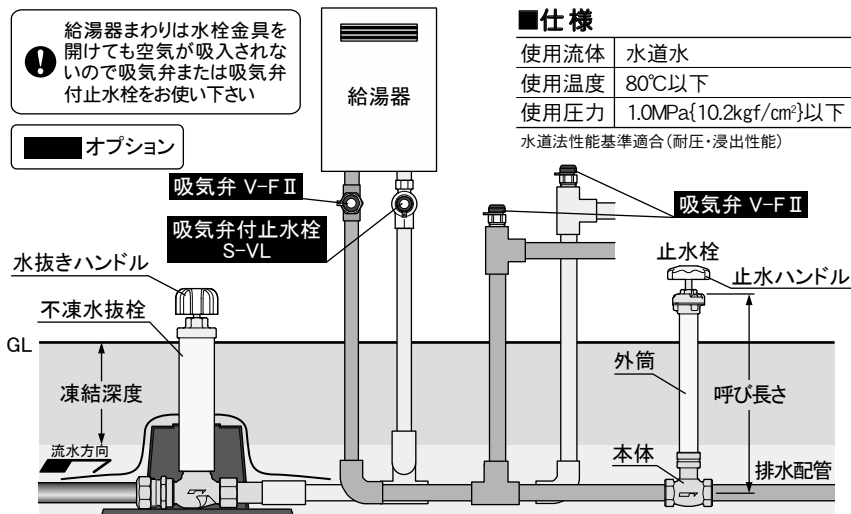


給湯器まわりは水栓金具を開けても空気が吸入されないで吸気弁または吸気弁付止水栓をお使い下さい

■ オプション

仕様

使用流体	水道水
使用温度	80℃以下
使用圧力	1.0MPa{10.2kgf/cm ² }以下
水道法性能基準適合(耐圧・浸出性能)	

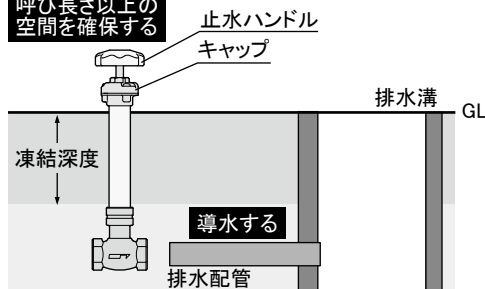


施工方法

1. 配管前に…

- ①メンテナンスのため、止水ハンドル上部に内筒管一式(内部構造)が抜き出せる場所を選んで下さい。
- ②メンテナンスのため、キャップを地上に出して施工して下さい。
- ③排水配管は、水はけの良い場所に導水して下さい。

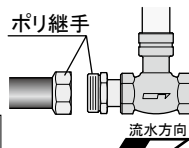
呼び長さ以上の空間を確保する



2. 給湯配管との接続

- ①1次側、2次側の配管種類に合わせて、継手等を配管に取り付けます。
- ②本体の流水方向を確認して、工具を使って締め付け、本体と接続します。

配管接続: テーパめねじ、平行おねじ

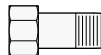
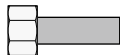


- ❗ 流水方向を確認する
- ❗ 配管接続部を清掃する
- ❗ 給湯配管に接続する

■ オプション

(例 ポリエチレン管接続)

配管との接続に便利な継手です。用途に合わせてお使い下さい。



ポリ継手 PJ-KOS VPシモク・ナット HIVPシモク・ナット GPシモク・ナット

3. 吸気弁または吸気弁付止水栓の取り付け

- ① 給湯器まわりは、水栓金具（蛇口等）を開けても空気が吸入されず、水が抜けません。必ず吸気弁・吸気弁付止水栓を取り付けて下さい。
- ② 各立上り管のできるだけ高い位置に吸気弁・吸気弁付止水栓を取り付けます。壁中配管の場合は、吸気弁が必ず壁外に出る施工をして下さい。

⚠ 注意

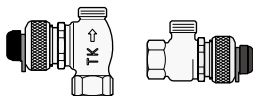
吸気弁を付けても吸気弁より先の配管や給湯器内の水は、配管条件等により抜けない場合があります

■オプション

水抜き操作で、自動的に空気が吸入されます。



吸気弁 V-F II



吸気弁付止水栓
S-VL S-VA



(例 S-VL/V-F II 給湯器接続)

洗管と作動確認

■洗管

施工後、水栓金具（蛇口等）を全開にし、水を流して配管の洗浄をおこなって下さい。

■作動確認

洗管後、不凍水抜栓と止水ハンドルを操作して水が抜ける（排水する）ことを確認して下さい。

操作方法

⊘ 止水栓だけで操作しない

■水抜き操作（凍結防止）

- ① 不凍水抜栓の水抜きハンドルを“水抜”方向（右回り）に止まるまで回します。
- ② 止水栓の止水ハンドルを“水抜”方向（左回り）に止まるまで回します。
- ③ 水栓金具（蛇口等）を開けます。（水が抜けます）
※シングルレバー混合栓の場合、レバーを中央位置にしてから開けて下さい。

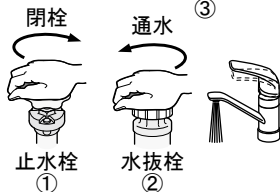
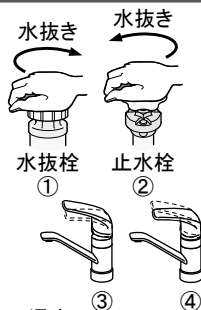
❗ 空気を吸入しないと水は抜けません

- ④ 水抜きが終わったら、水栓金具を閉めます。

■通水操作

❗ 水栓金具（蛇口等）が閉じていること

- ① 止水栓の止水ハンドルを“閉栓”方向（右回り）に止まるまで回します。
- ② 不凍水抜栓の水抜きハンドルを“通水”方向（左回り）に止まるまで回します。（通水状態になります）
※水栓金具（蛇口等）を操作してお使い下さい。



⚠ 注意

通水操作直後は水栓金具（蛇口等）から水が飛び散ることがあります

保証書

※型式	TK-LS/TK-S		
※保証期間	施工日(年 月 日)より2年間		
※お客様	氏名	様	
	住所		
	電話番号	()	
※取扱店 及び 工事店			

取扱店及び工事店様へ：※印欄は必ず記入してお渡してください。

<保証規定>

- 1.施工・取扱説明書に従った正常な状態で、保証期間内に故障した場合は、施工工事店または弊社が無料修理致します。
- 2.保証期間内に故障が発生した場合は、施工工事店にご依頼いただき、本書をご提示下さい。
- 3.保証期間内でも、次の場合は有料となります。
 - ①施工・使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ②お買い上げ後の落下等による故障および損傷。
 - ③火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、特別な環境等による故障および損傷。
 - ④製品の凍結による故障および損傷。
 - ⑤本書の提示がない場合。
 - ⑥本書に施工年月日・お客様名・取扱店及び工事店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 4.保証期間を過ぎてから修理をご依頼になる場合も、本書をご提示下さい。
- 5.本書は再発行いたしません。大切に保管して下さい。

本書はここに明示した期間・条件のもとにおいて無料保証をお約束するものです。

株式会社 竹村製作所

本社/〒381-0017 長野県長野市小島127

お問い合わせ先

■お問い合わせのときには最寄の支店・営業所まで次のことをご知らせ下さい。

- ・製品名
- ・詳しい状況、内容
- ・その他、お気づきになられたこと
- ・施工日
- ・氏名、住所、電話番号

株式会社 竹村製作所

支店・営業所/札幌・青森・秋田・盛岡・山形・仙台・福島・北関東・新潟・長野・甲府
ホームページアドレス <https://www.takemura-ss.com>

お客様ご相談窓口

フライング



イーナフター

0120-107210

月～金 AM9:00～12:00 PM1:00～5:00